

感染した高齢者は入院できるようにすべき！

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



千田みつ子県議とともに、倉成市長に申し入れ（1月16日）

3年が経過したコロナ感染は、「第8波」を迎え、死亡者数が増えています。日本共産党奥州市議団は、1月12日、奥州市の現状について健康こども部の聞き取り調査を行いました。さらに、1月16日、千田みつ子県議とともに、倉成淳市長に「新型コロナウイルス感染の急拡大から市民の命とくらしを守るための緊急申し入れ」を行いました。

新型コロナウイルス・オミクロン株による感染拡大は、「第8波」を迎え、奥州保健所管内では、12月20日に過去最多の284人を記録し、人口10万人あたり

40代以下の接種を増やす方策を

議員団は、オミクロン株のワクチン接種は10代から40代において、副反応の心配もあり、進んでいない状況から、ワクチン接種を増やすためにも、丁寧な周知を求めました。

（1月10日）と、感染拡大が続いています。特にも、高齢者施設や医療施設等でのクラスターが頻発し、県内死者数は66日連続で、525人にもなります。（18日現在）

広報誌やFM等で周知を促進する

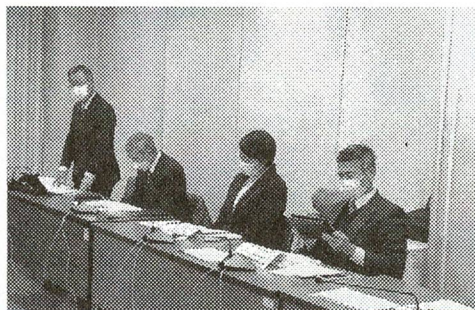
担当者は「4回目以降のワクチン接種の案内は、60歳以上と60歳未満の基礎疾患のある方にだけに出しているの、接種者が少ないと思われる。20歳のつどいでの周知、次回広報誌への掲載、おうしゅうFMでの広報等で、ワクチン接種の促進をはかりたい」と述べました。

高齢者施設内療養中の死亡者数を示すべき

高齢者施設などで新型コロナウイルスに感染した入居者が、病院に入院できず施設内で亡くなったり、病院でクラスターが発生して医療機関がひっ迫していると伝えられています。議員団は、感染した高齢者は入院できるようにすることと合わせて、高齢者施設でのクラスター発生状況や施設内での死亡数をつかんで公表すべきではと、質しました。

管内の死亡者数は公表されない

担当者は「保健所等との入院調整会議で情報は入ってくるが、正確な数字は公表されていない」と述べるにとどまりました。



健康こども部の聞き取り調査（1月12日）

2023年 日本共産党 奥州市 “新春のつどい”

2023年の新春を迎え、皆様方にはお健やかに新年を迎えられた事と思います。さて、今年は下記により前参議院議員の大門みきしさんを迎えて「新春のつどい」を盛大に開催します。この機会にぜひ誘いあってご参加ください。

記

◎日時：1月28日（土）午後2時～3時半
（1時半開場）
◎場所：奥州市文化会館（中ホール）

◎参加：どなたでも参加できますが、コロナ対策のため、出来るだけ事前に最寄りの党員か下記まで電話・FAXでお申し込みください。

日本共産党奥州市委員会

TEL 24-2021
FAX 24-2049

コロナ対応で現場は混乱、病床逼迫も 対策は急務！



日本共産党奥州市議員
千田みつ子
1月11日

11日、県議会環境福祉委員会の現地調査が行われ、県立中央病院



宮田剛（こう）病院長は「コロナ対応は過去3年間で一番ひどい状況であり、現在27名が入院（確保病床は14床、過去最多）、さらに「一般病棟で引き受けざるを得ない状況」と語りました。

また、「盛岡の場合、救急車が搬送先病院を探す時の電話回数が増えており、これまで、3回以上かけて搬送先が見つかった例は1100件以上、最高は令和3年で10回電話をかけた、という例もあり。大変な事態になっている」と話されました。

今後、救急救命士の雇用や看護師の更なる増員、中央病院への救急車等の一極集中の回避が急務だと感じました。